

微量酸素分析計

SH-200シリーズ

▶ SH-204-AW



用途

リフロー炉、フェライト焼成炉
 その他雰囲気管理・燃焼管理用途

▶ SH-200シリーズのセンサは制御されたセンサの電流出力を使用する2セル・限界電流方式です。
 センサと受信器、サンプリング部品を1つのユニットに収めたモデルです。

特長

- 超小型センサで%領域から0-100ppm領域まで測定可能
- 2セル限界電流採用で標準ガスボンベが不要で0-1000ppmまで測定可能
- DATA入力機能採用で現地・客先によるセンサ交換容易
- 測定レンジは0-100ppmから%までの4レンジを自由に選択可
- レンジ切替はローカル/リモート及びオートレンジ切替付
- 濃度上下限警報付
- AIR点リモート校正端子装備で外部から校正実施可能

仕様

型式	SH-204-AW(その他の機種についてはお問い合わせください)
測定原理	ジルコニア2セルポンプ方式
測定レンジ	0-100ppm ~ 0-25% 任意の4レンジ選択可能
直線性	±5%FS
繰返し性	±1%FS
応答時間	0-1000ppm未満: 60s以下
	0-1000ppm以上: 30s以下 (校正ガス切替時T90応答)

アナログ出力	DC4-20mA(固定)、0-1、0-5、0-10V選択
校正	Air1点校正(測定レンジにより標準ガス必要)
取付け	パネルカット、装置内へ設置
測定方法	エゼクタ吸引(内蔵ポンプタイプもあり)
電源	AC100-240V
外形	約W252×D210×H151
重量	約5kg

微量酸素分析計

TF-30D201

▶ TF-30 センサ



▶ DTF-201 受信器

用途

リフロー炉、フェライト焼成炉、その他雰囲気管理・燃焼管理用途

▶ TF-30センサは制御されたセンサの電流出力を使用する2セル・限界電流方式です。

特長

- 超小型センサで%領域から0-100ppm領域まで測定可能
- 2セル限界電流採用で標準ガスボンベが不要
- DATA入力機能採用で現地・客先によるセンサ交換容易
- 測定レンジは0-100ppmから%までの4レンジを自由に選択可
- レンジ切替はローカル/リモート及びオートレンジ切替付
- 濃度上下限警報付
- AIR点リモート校正端子搭載で外部から校正実施可能

仕様

型式	TF-30D201
測定原理	ジルコニア2セルポンプ方式
測定レンジ	0-100ppm ~ 0-25% 任意の4レンジ選択可能
直線性	±2%FS
繰返し性	±1%FS
応答時間	0-1000ppm未満: 60S以下
	0-1000ppm以上: 30S以下 (校正ガス切替時T90応答)

アナログ出力	DC4-20mA(固定)、0-1、0-5、0-10V選択
校正	Air1点校正(測定レンジにより標準ガス必要)
取付け	専用センサ取付金具にて配管取付
測定方法	直接取付、サンプリング(個別対応)
電源	AC100,200V、DC24Vのいずれか
外形(受信器)	約W96×D170×H96
重量	センサ 約1kg、受信器 約1kg